

JAL 争議の早期解決のため、皆様に結集を呼びかけるものです。  
皆様のご参加をお待ちしています。



# JAL闘争東京連絡会準備会（第3回）

## 11月13日（月）

日時：11月13日（月）18：00～

場所：港区立神明いきいきプラザ会議室 B

港区浜松町 1-6-7 TEL 03-3436-2500

JR 浜松町駅北口から徒歩 4 分、都営地下鉄大門 A2 出口から徒歩 4 分

議題：都労委の状況、12/22 の成功に向けて等

東海林智さん（ジャーナリスト）の講演を予定しています。

竹信三恵子さんが講演された第 2 回東京連絡会準備会（10/2）



**裏面もご覧下さい！**

10/2 に、運営委員会から鈴木等さん（新宿一般労組）が  
挨拶をされました。発言内容は裏面に記載しています。

JAL 不当解雇撤回闘争支援東京連絡会（準備会）運営委員会

お問い合わせ：JAL 被解雇者労働組合（JHU）080-4905-3383

## 鈴木等さんの発言内容

多くの人が解決をしていると思っている。JHUの仲間がなぜ闘っているのか、その決意を述べ訴える中で、支援の仲間が再び支援する状況が生まれている。今新たな局面を展開している。一昨年以降、どのような形で行動を展開して運動をしてきたのか。経過を知って頂かないと、この会を作るに当たり、ボタンのかけ違いをする可能性がある。



特別協議という形で交渉しているから運動を中止しようという組合方針が出され、支援共闘も従い、21年末に都内6か所宣伝行動が終わった。「闘いは運動を構築しなければ勝利できない。今こそ運動を継続しよう」という思いを持った人が「実行委員会」を結成して、行動を提起し取り組んできた。22/2/16に「JAL 争議全面解決をめざす集会」を実行委員会形式で行い大成功させた。組合も支援共闘も運動を停止し、実行委員会がやらざるを得なかった。4月～6月に関東キャラバンを展開し、6/10に本社前行動も大成功。併せて各地域での駅頭宣伝行動が4月から再開。争議団や闘う中での解決を求める仲間のよびかけによって、今まで運動してきた地域の人たちが再度宣伝行動に立ち上がる。22/12/8、「全面解決をめざす東京実行委員会」を結成し大集会を成功させた。

2 労組の終結で、支援共闘も解散せざるを得なくなった。「12/8 東京集会」を成功させた「実行委員会」は、このままでは行動提起する場所がない。継続的な運動をしていこうと、「JAL 争議早期全面解決をめざす実行委員会」と名称を変えた。今年の株主総会に向けて大きなうねりを作るという一点で、6月に全国キャラバンを展開。そして羽田空港でスタンディング、6/23株主総会でも運動を展開しました。

この実行委員会が中心となって運動を計画していることを知って頂きたい。どこが提起し支えてきたのか、運動を継続する中で闘いを勝利するというこの思いの人達が集まった実行委員会の結成の中で、培われてきたことを知って頂きたい。

「東京連絡会」は支援共闘にはなり得ない。主要団体が入った支援共闘が解散した中で、加盟組合によってJAL争議への対応に違いがある。しかし、当該は多くの支援を受け、闘いを共に構築して頂きたいという思いがある。今都内では、争議団の要請を受け、その人達の心をくみ取り、各地域で再度運動を展開している。

実行委員会に結集している仲間も様々。6か所でも実行委員会に結集している仲間も結集していない仲間もいる。結集していない仲間は実行委員会の取り組みが十分には伝わらない。実行委員会の取り組みについて共有して頂き、都内で運動を作って頂きたい。6団体が各個別でなく、実行委員会の提起を受け、どうやったら成功できるのかを相談する、そのような団体を作って頂きたいというのが今回の連絡会です。

ローカルセンターは入っていない。中心になる組織がない。個々の組合、団体、個人の緩やかな結集の中で、運動を大きく幅広く展開する。実行委員会と切り離して考えることはできない。協力共同の関係を作る中で、都内で運動の自主性を図る緩やかな団体になる。支援の運動を構築する場であることを共有して頂き、大同団結を勝ち取っていききたい。